

平成 21 年度当初予算 施策別概要

226 安全で安心な水産物の 安定的な提供

(主担当部：農水商工部)

- | | | |
|-------|---------------------|-----------|
| 22601 | 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保 | (農水商工部) |
| 22602 | 水産経営基盤の確保・充実 | (農水商工部) |
| 22603 | 水産生産基盤の整備 | (農水商工部) |

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 安全で安心な水産物の提供を安定的に受けている

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
漁業総生産量の全国に占める割合	目標値	-	3.4% (H18)	3.4% (H19)	3.4% (H20)	3.4% (H21)
	実績値	3.4% (H17)	3.8% (H18)	3.6% (H19)		

海面漁業と内水面漁業の総生産量の全国シェア。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる最新のデータである平成 21 年度の実績値により測ることとします。

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
沿岸沖合漁業および海面養殖業の生産量	目標値	-	150,000t (H18)	150,000t (H19)	150,000t (H20)	150,000t (H21)
	実績値	142,545t (H17)	175,387t (H18)	161,536t (H19)		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・安全で安心な水産物の安定的な提供に向けて、資源管理型漁業や栽培漁業などに取り組むことにより資源の維持増大をはかるとともに、地域特性に応じた持続的養殖を推進するなど、漁業者の経営の安定化・合理化を進めています。
- ・漁業協同組合の自立支援や財務改善、広域合併に向けた取組などを促進しています。
- ・水産業を取り巻く状況は、燃油や養殖用飼料の価格高騰による生産コストの増大、漁獲量の減少や魚価の低迷、就業者の高齢化等に加え、「食の安全」確保への対応など、厳しい状況が続いています。
- ・省エネ型漁業への転換を促進し、資源の持続的な利用をはかるとともに、水産物の自主衛生管理の促進が必要です。
- ・各海域の特性に応じた漁業を持続的に担うことができる効率かつ安定的な経営体を確保するためには、意欲ある漁業者グループを育成することが必要です。加えて、それらを主体的に支援する組織となる漁業協同組合の広域合併の促進が急務となっています。
- ・水産物の持続的な生産を支える水産基盤整備及び漁場環境の保全創造をはかる必要があります。

<平成21年度の取組方向>

安全で安心な水産物を提供するため、自主衛生管理の促進、生産履歴の記帳指導の充実や環境に配慮した養殖業の推進などに取り組みます。

水産物を安定的に提供するため、漁獲量の管理等による漁業者の自主的な資源管理への支援や漁業許可、漁業権免許制度などの的確な運用により水面の秩序ある総合的高度利用を推進するとともに、関係機関との連携を密にしながら、資源の悪化が懸念され消費者ニーズの高い魚介類の種苗を生産・放流し、積極的な漁業資源の維持増大に取り組みます。

経済状況の変化に対応できる強い漁業経営を目指して、新たな操業体制の構築など省エネ型漁業への転換を促進し、水産物の安定供給をはかります。

持続的に漁業を担うことができる担い手を確保・育成するとともに、多様な人材を確保するため新規就業希望者の受け入れ態勢を整備します。

漁業協同組合が地域の水産業の振興に十分な役割を果たせるよう、漁業協同組合の財務改善や広域合併の取組を支援します。

荒天時にも安心して使用できる漁港の整備や、県民の生命と財産を守るための海岸保全施設の整備を進めるとともに、水産資源の生育環境を保全・創造するための魚礁の整備、漁場環境の保全事業を推進します。

<主な事業>

(重) 東紀州地域の水産業活性化対策事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 1 水産業振興費)

予算額：(20) 7,568千円 (21) 6,248千円

事業概要：地域特性を生かした持続的養殖の推進や経営安定に向けて、ヒロメ(海藻)の複合養殖の技術開発に取り組むとともに、マハタの特産品化や、マダイ養殖の「生産情報公表JAS」の認証取得に向けたモデル的な取組を支援します。(JAS取得取組支援：2地区実施予定等)

(新) 外湾地区省燃油型漁業推進対策事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 1 水産業振興費)

予算額：(20) - 千円 (21) 10,175千円

(16,475千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要：広域的な漁協合併に取り組んでいる外湾地区(鳥羽市以南)において、合併後の早期自立と燃油使用を低減できる漁業形態への転換に向けて、沿岸漁業の対象魚種となるカサゴなど定着性魚介類の資源増大や、当該地区の基幹漁業である養殖業の活性化をはかります。(カサゴ：18万尾放流予定等)

(新) 強い漁家経営支援事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 5 農林漁業担い手対策費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

(6,397千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要：意欲ある漁業担い手グループ等が取り組む「革新的な漁獲技術の導入による漁業収入の増大」や「新たな漁業技術の導入やパイオニア的活動」等に対して支援を行うことにより、将来にわたって持続可能な漁業経営体を創出します。(6グループ)

(新) 緊急漁業就業促進事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 5 農林漁業担い手対策費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

(10,000千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要：水産業における多様な人材を確保するために、新規就業希望者の受け入れ態勢を整備することにより、スムーズな着業を支援します。(就業支援、漁具リース支援等)

(新) 外湾地区合併漁協早期自立支援事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 2 水産業協同組合指導費)

予算額：(20) - 千円 (21) 142,704千円

事業概要：外湾地区の漁協が、漁協の再編(合併)に取り組み、漁業者に対し、漁業者の生産基盤を支えるという漁協としての本来的な役割を十分に発揮できるよう、その経営基盤を早期に確立することを目的に一定の支援を行います。

(舞) 閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業【基本事業名：22603 水産生産基盤の整備】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6 水産基盤整備費)

予算額：(20) 732,348千円 (21) 666,086千円

事業概要：閉鎖性海域において悪化する生産力・水質浄化能力の回復や富栄養化した底質の改善をはかるため干潟・藻場の造成や底泥の浚渫を行います。(実施箇所：伊勢湾2期地区、英虞湾地区)

(重) 県営養殖基地機能向上事業【基本事業名：22603 水産生産基盤の整備】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6 水産基盤整備費)

予算額：(20) 250,000千円 (21) 250,000千円

事業概要：東紀州地域の主要な養殖基地において、働きやすい養殖基地づくりを進め、漁業収入の安定や就業者の定着をはかるため、漁港施設の整備を行い、機能の増進と安全性の確保をはかります。(実施箇所：三木浦漁港(物揚場、道路護岸))